

平成 20 年度診療報酬改定の結果の検証について

(平成 21 年 5 月中医協検証部会)

〔目次〕

- 診療報酬改定の結果の検証について 1 頁

- 平成 20 年度調査項目
 - 1 病院勤務医の負担軽減の実態調査 2 頁

 - 2 外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査 7 頁

 - 3 後発医薬品の使用状況調査 11 頁

 - 4 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査 1 17 頁
(後期高齢者診療料の算定状況に係る調査)

 - 5 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査 2 19 頁
(後期高齢者終末期相談支援料に係る調査)

診療報酬改定の結果の検証について

- 診療報酬改定については、その結果の検証を行い、これをその後の診療報酬改定に係る議論に繋げていくことが求められており、中央社会保険医療協議会に「診療報酬改定結果検証部会」を設置し、検証作業を行っているところ。

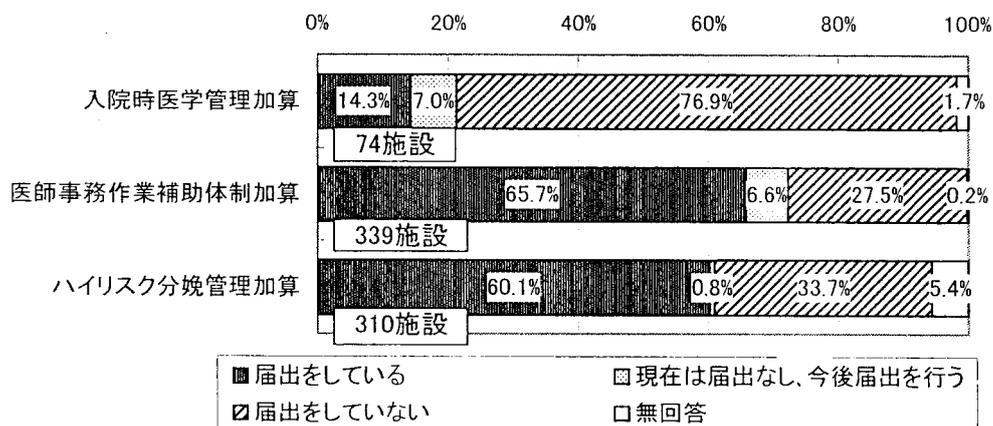
- 平成20年度診療報酬改定については、医療を巡る様々な課題等に対応すべく、
 - ① 緊急課題として産科や小児科をはじめとする病院勤務医の負担軽減策を推進したほか、
 - ② 後発医薬品の使用促進等の適正化策を講ずるなど、メリハリをつけた改定を行ったところ。
 - ③ また、後期高齢者については、長寿を迎えられた方が、出来るだけ自立した生活を送ることができるよう、「生活を支える医療」が提供できる診療報酬体系を創設したところ。

- このうち、平成20年度に検証を行う項目については、平成20年7月の中医協の検証部会において決定されたところであり、具体的には、以下の5項目について検証することとされたところ。
 - ① 病院勤務医の負担軽減の実態調査
 - ② 外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査
 - ③ 後発医薬品の使用状況調査
 - ④ 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査1
(後期高齢者診療料の算定状況に係る調査)
 - ⑤ 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査2
(後期高齢者終末期相談支援料に係る調査)

1 病院勤務医の負担軽減の実態調査

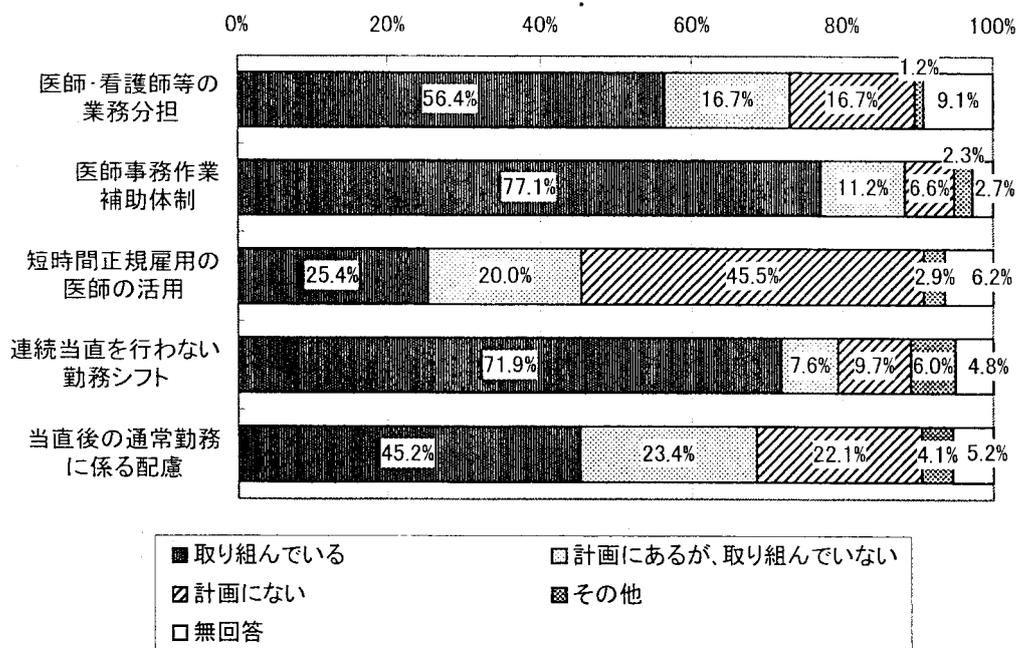
○ 施設基準の届け出状況

図表 2 施設基準の届出状況(n=516)



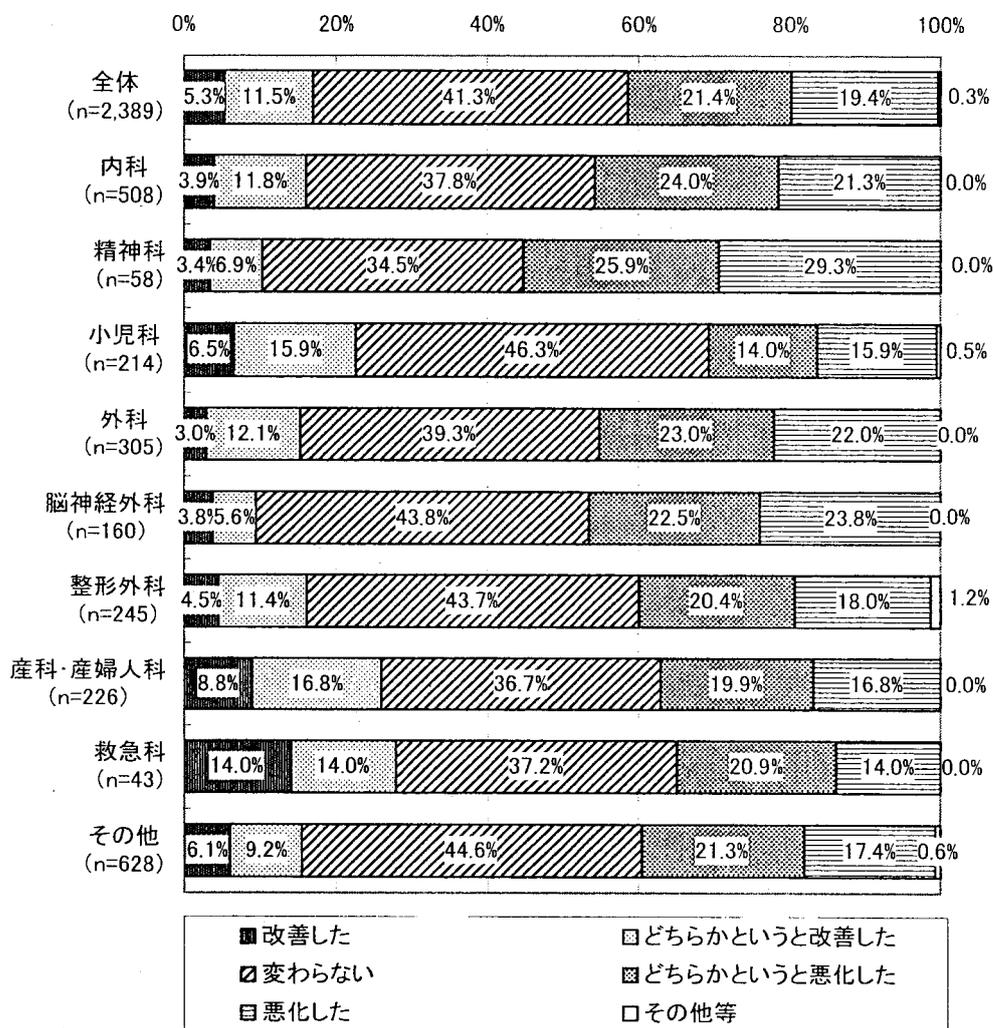
○ 病院勤務医の負担軽減策の実施状況

図表 37 負担軽減策の取組み状況(施設, n=516)



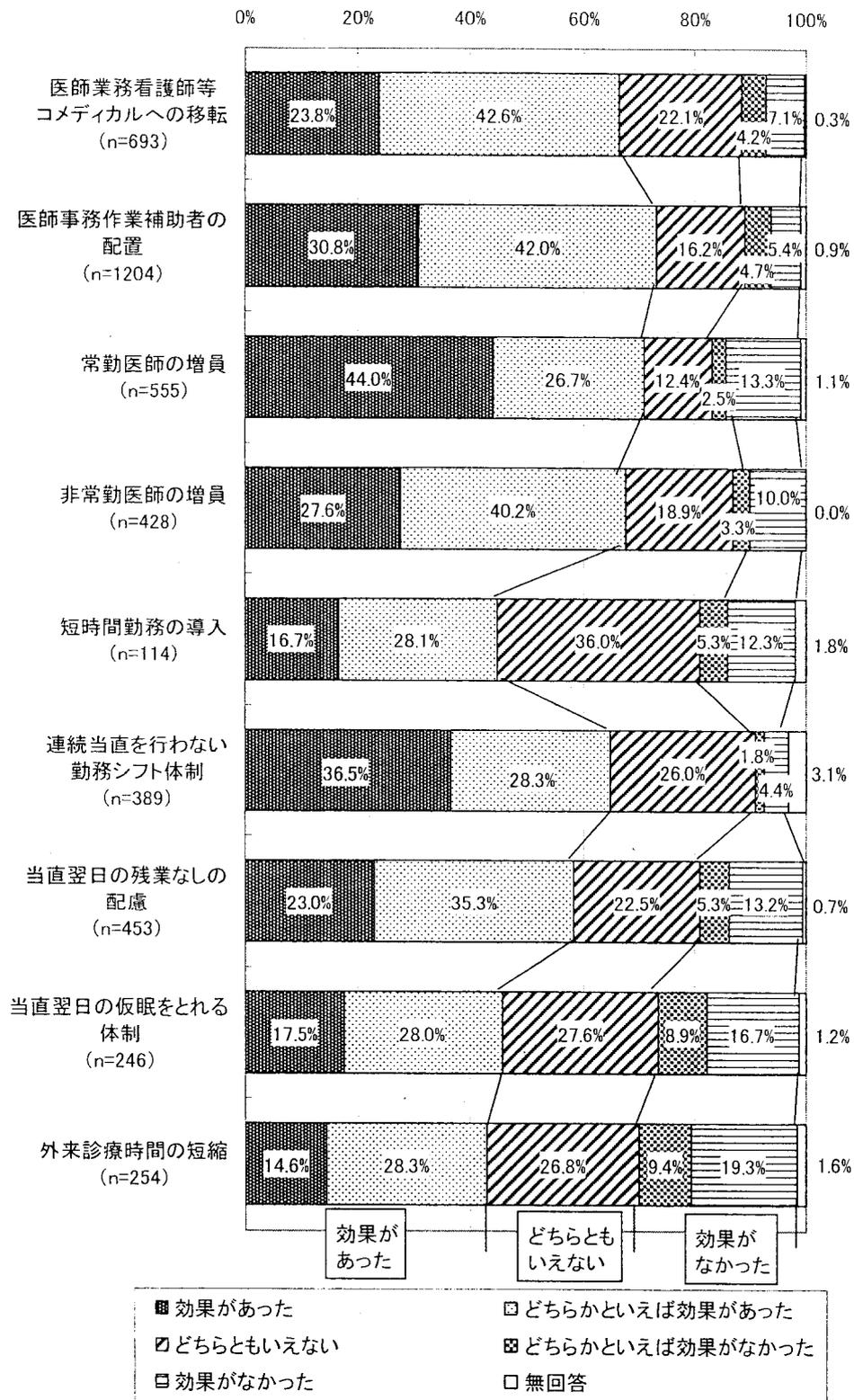
○ 各診療科における医師の勤務状況の変化

図表 128 各診療科における医師の勤務状況の変化(医師責任者)
1年前と比較して



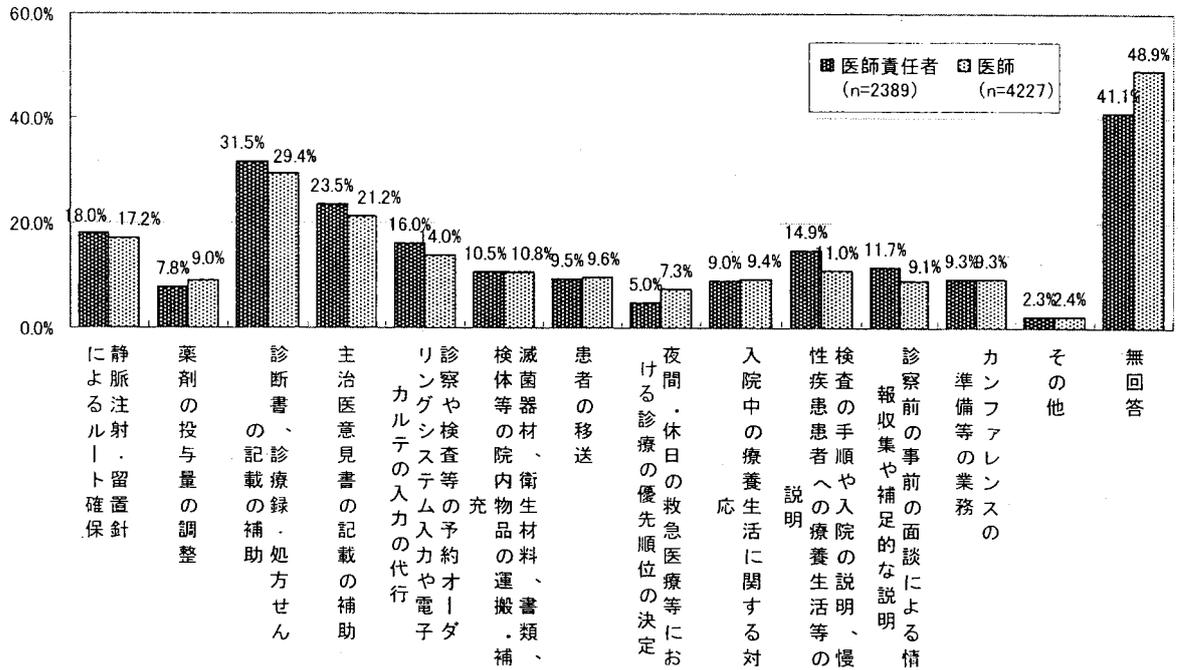
○ 取り組んでいる勤務医負担軽減策の効果

図表 140 取り組んでいる勤務負担軽減策の効果(医師責任者)



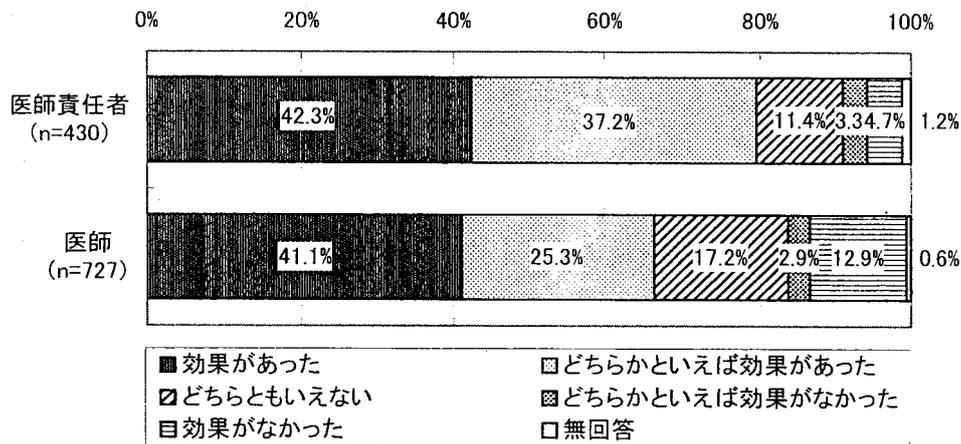
○ 業務分担の効果

図表 163 業務分担の進捗状況(医師責任者・医師)

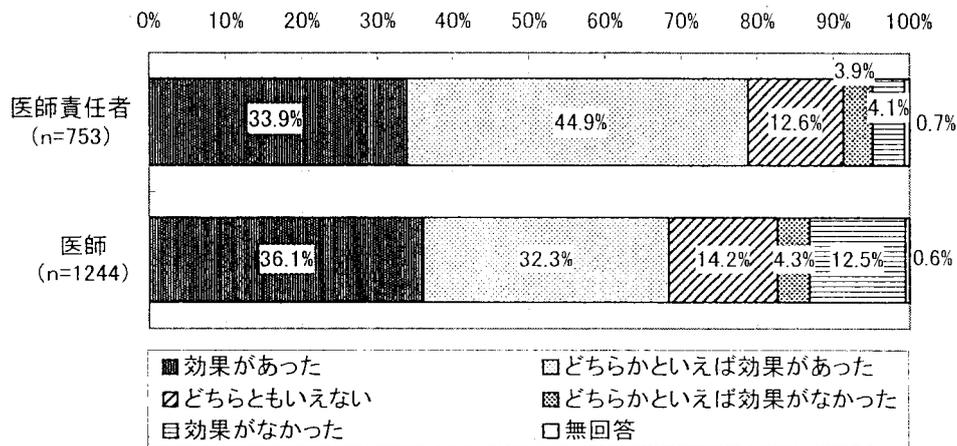


図表 164 実施している業務分担の効果(医師責任者・医師)

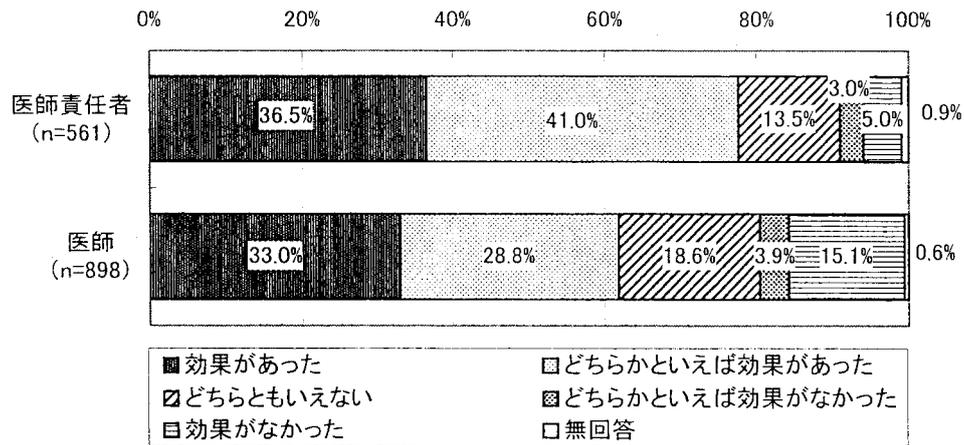
～①静脈注射及び留置針によるルート確保～



図表 166 実施している業務分担の効果(医師責任者・医師)
 ～③診断書、診療録・処方せんの記載の補助～



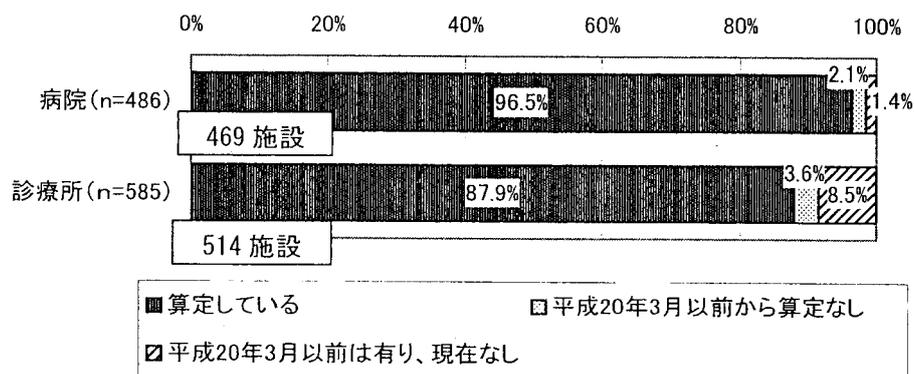
図表 168 実施している業務分担の効果(医師責任者・医師)
 ～④主治医意見書の記載の補助～



2 外来管理加算の意義付けの見直しの影響調査

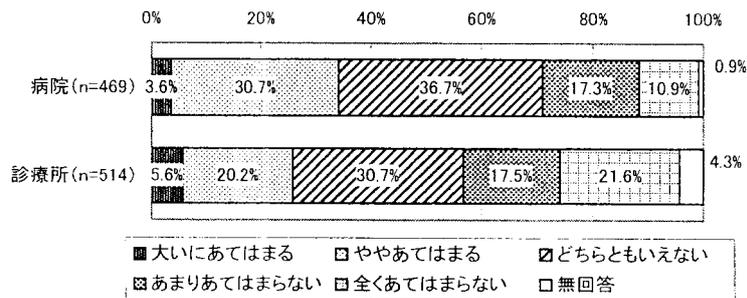
○ 外来管理加算の算定状況

図表 21 外来管理加算の算定状況等(平成 20 年 10 月末現在)

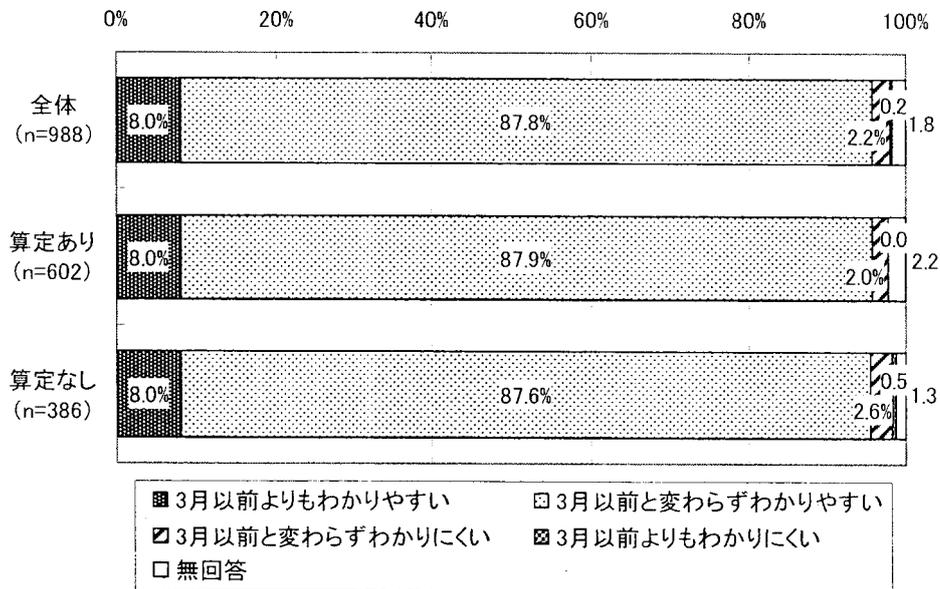


○ 外来管理加算の意義付けの見直しによる影響

図表 31 外来管理加算の意義付けの見直しによる影響
「(2)患者に説明をよりわかりやすく、丁寧に行うようになった」
(病院、診療所)

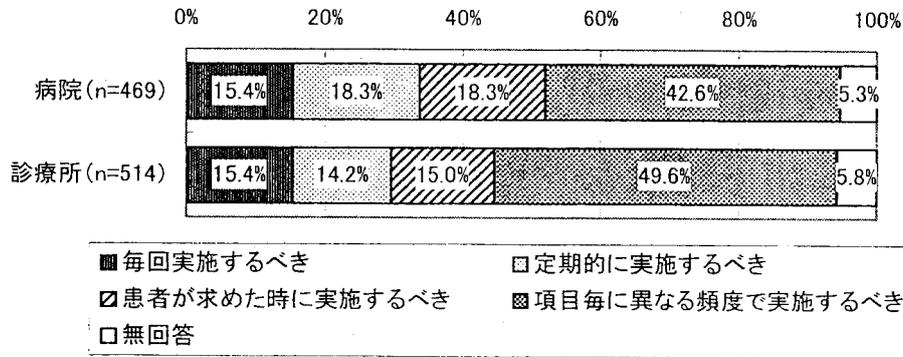


図表 68 平成 20 年 4 月以降の診察内容の変化
「症状・状態についての医師からの説明」(患者)

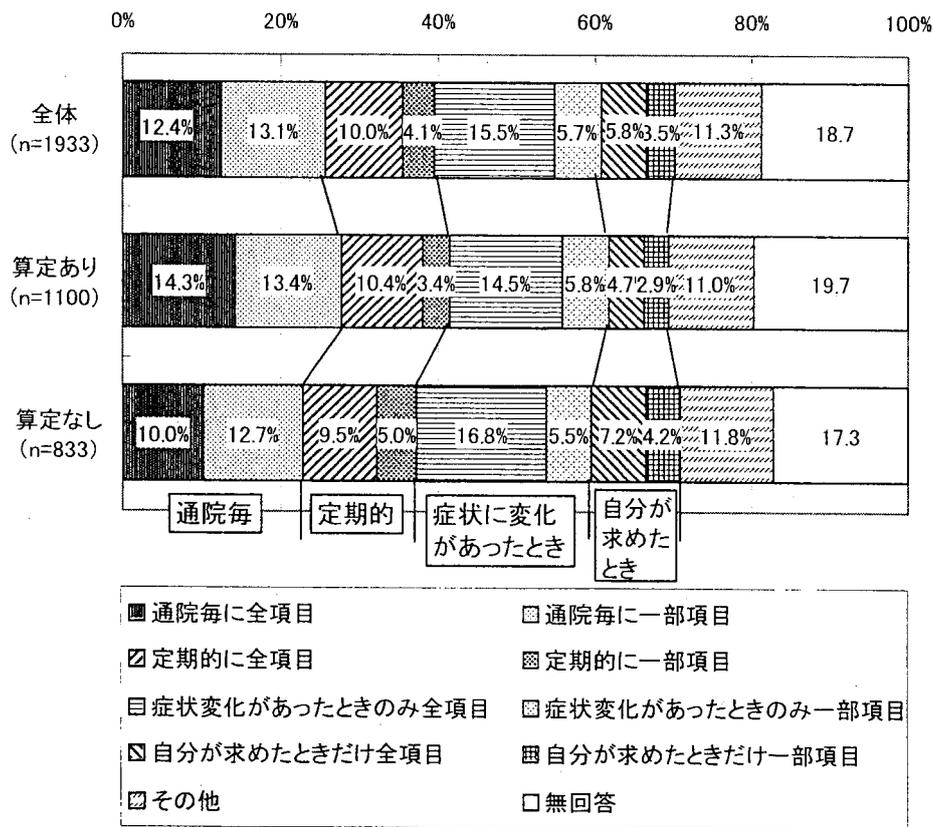


○ 望ましい「懇切丁寧な説明」の実施頻度

図表 52 望ましい「懇切丁寧な説明」の内容(病院・診療所)



図表 107 「懇切丁寧な説明」についての要望(患者)

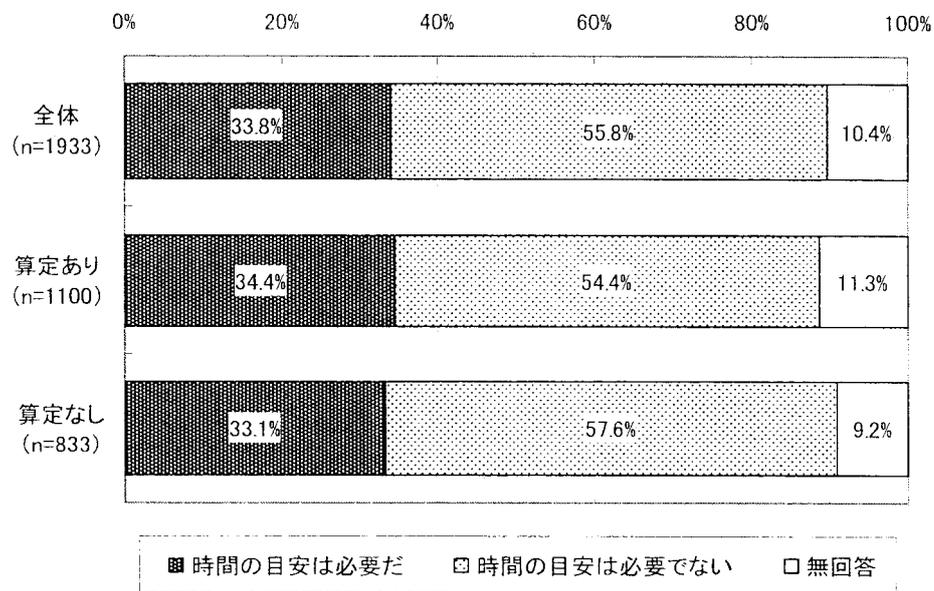


※ 「懇切丁寧な説明」の項目

問診、身体診察、症状・状態についての説明、治療方針についての説明、生活上の注意や指導、処方薬についての説明、悩みや不安・疑問への対応、その他

○ 時間の目安について

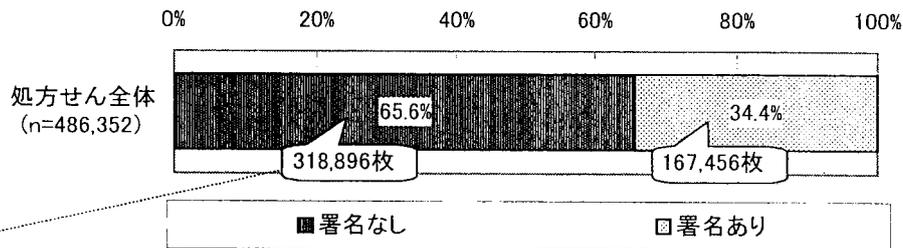
図表 1 外来管理加算の時間の目安についての考え(患者)



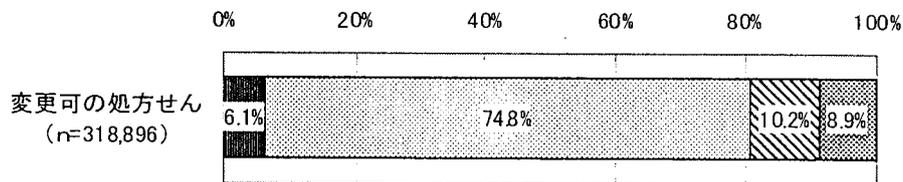
3 後発医薬品の使用状況調査

○ 保険薬局調査の結果概要

図表 19 すべての処方せんにおける、「後発医薬品への変更不可」欄の
処方医の署名等の有無（平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース）

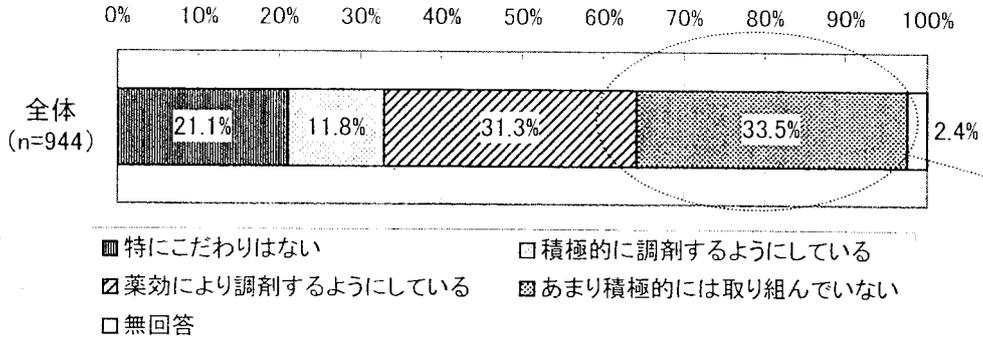


図表 20 「後発医薬品への変更不可」欄に処方医の署名等がない処方せん
(n=318,896) における、後発医薬品への変更状況
(平成 20 年 12 月 1 か月分の処方せんベース)

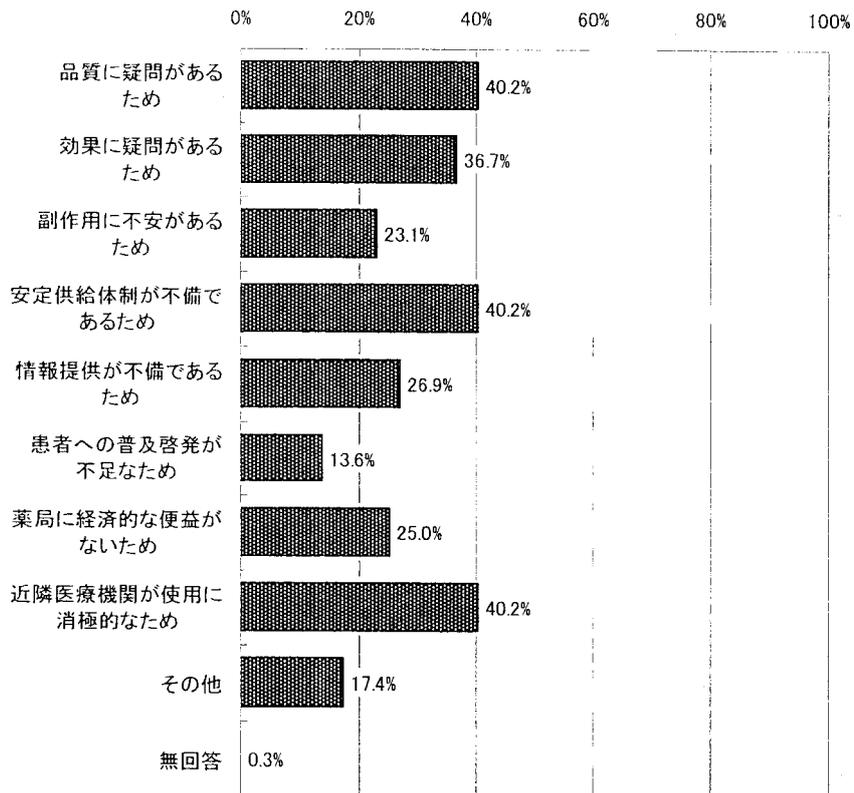


- 1品目でも先発医薬品を後発医薬品に変更した
- 後発医薬品に変更しなかった
- ▨ 処方せんに記載されたすべての銘柄について、後発医薬品が薬価収載されていないために、後発医薬品に変更しなかった
- ▩ 患者が希望しなかったために、すべて後発医薬品に変更しなかった

図表 46 後発医薬品調剤に関する考え方

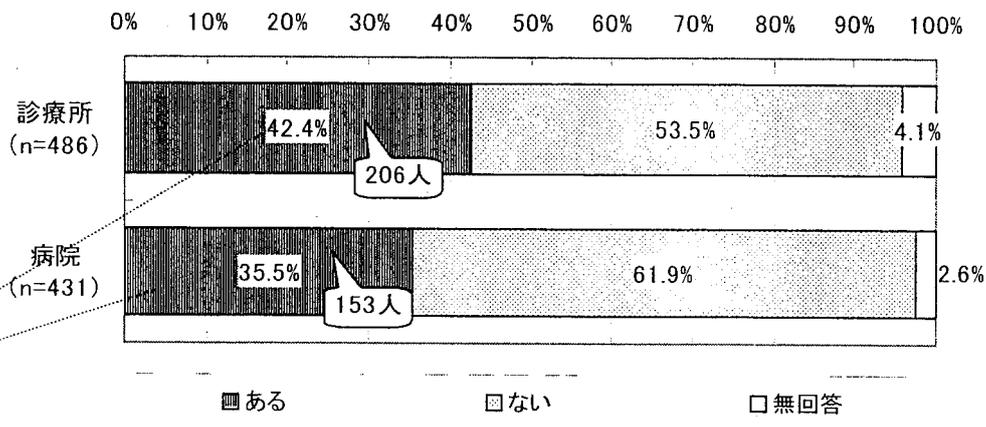


図表 47 後発医薬品の説明・調剤にあまり積極的に取り組まない理由
(複数回答、n=316)

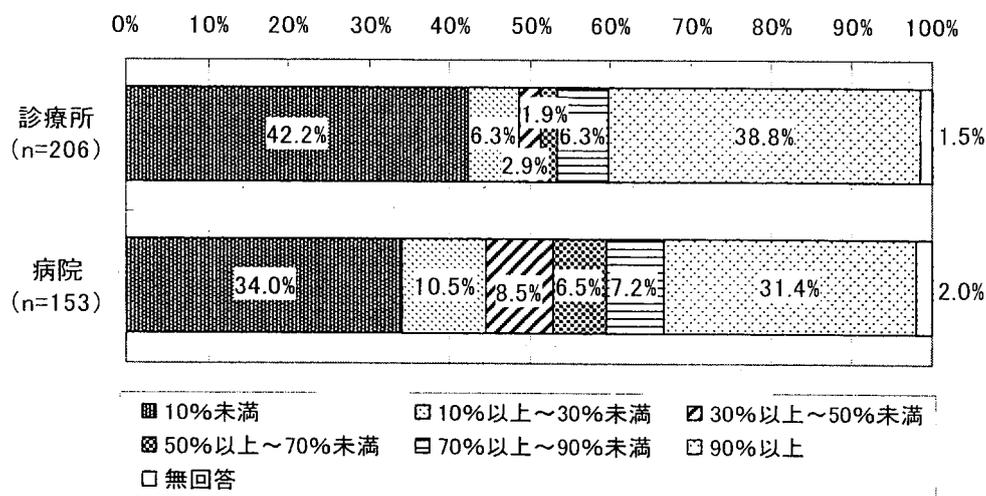


○ 診療所・病院・医師調査の結果概要

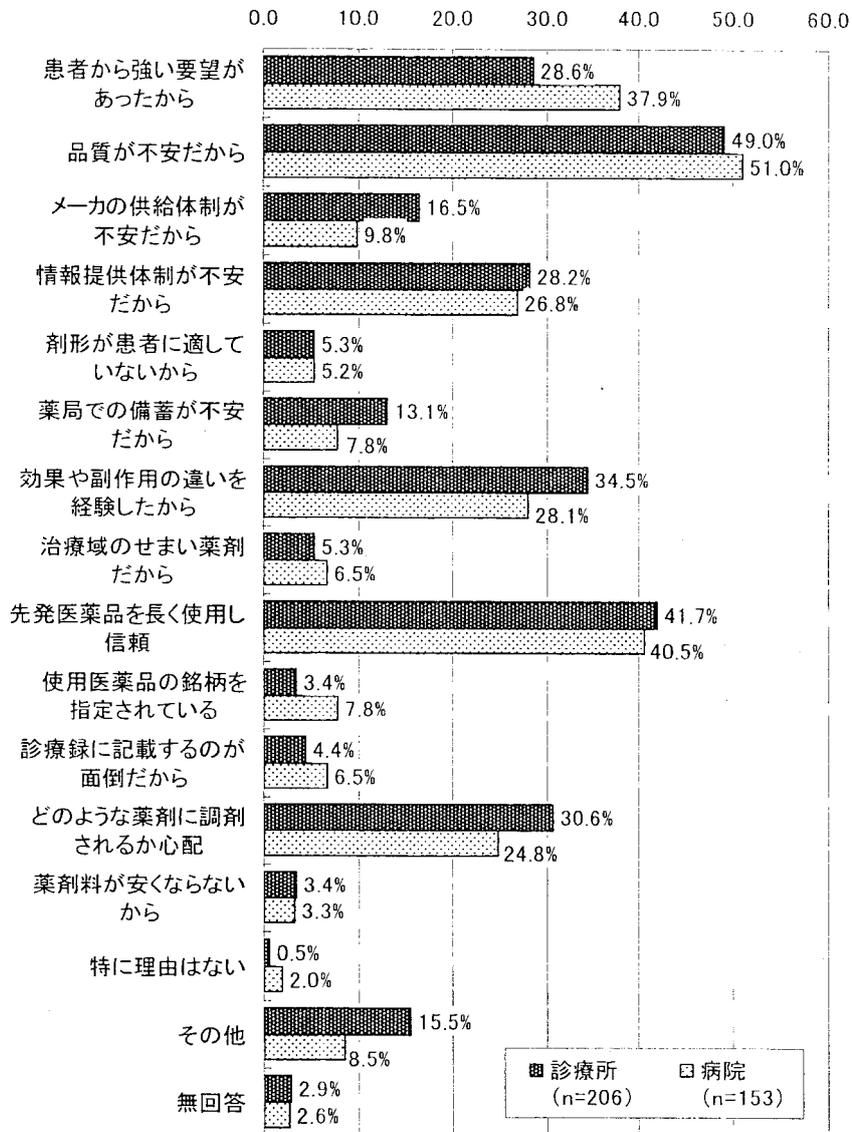
図表 79 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した処方せんの発行経験の有無
(医師ベース)



図表 80 院外処方せん枚数全体に占める、「変更不可」欄に署名した
処方せんの割合 (医師ベース)

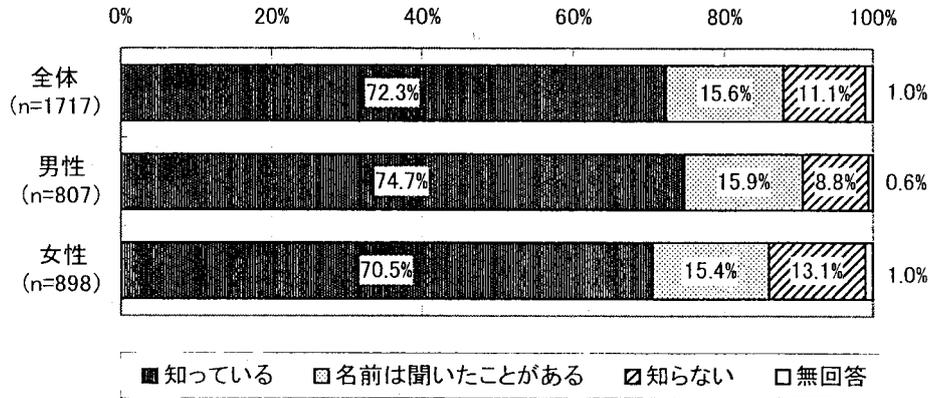


図表 81 「後発医薬品への変更不可」欄に署名した理由
(医師ベース、複数回答)

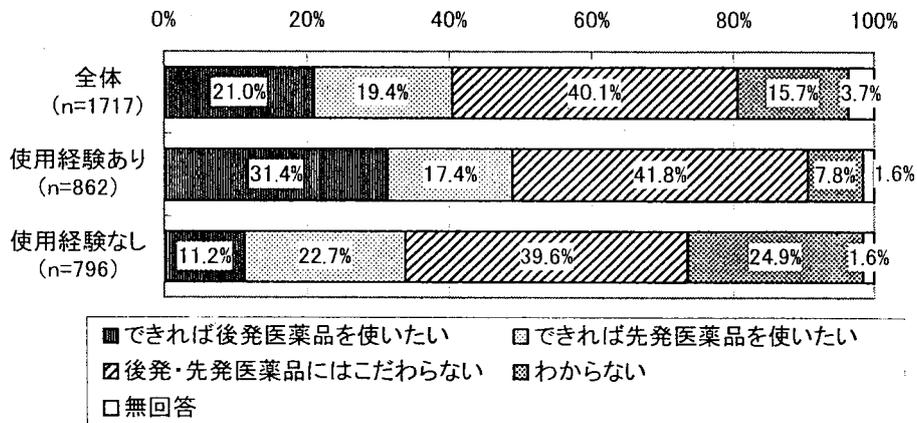


○ 患者調査の結果概要

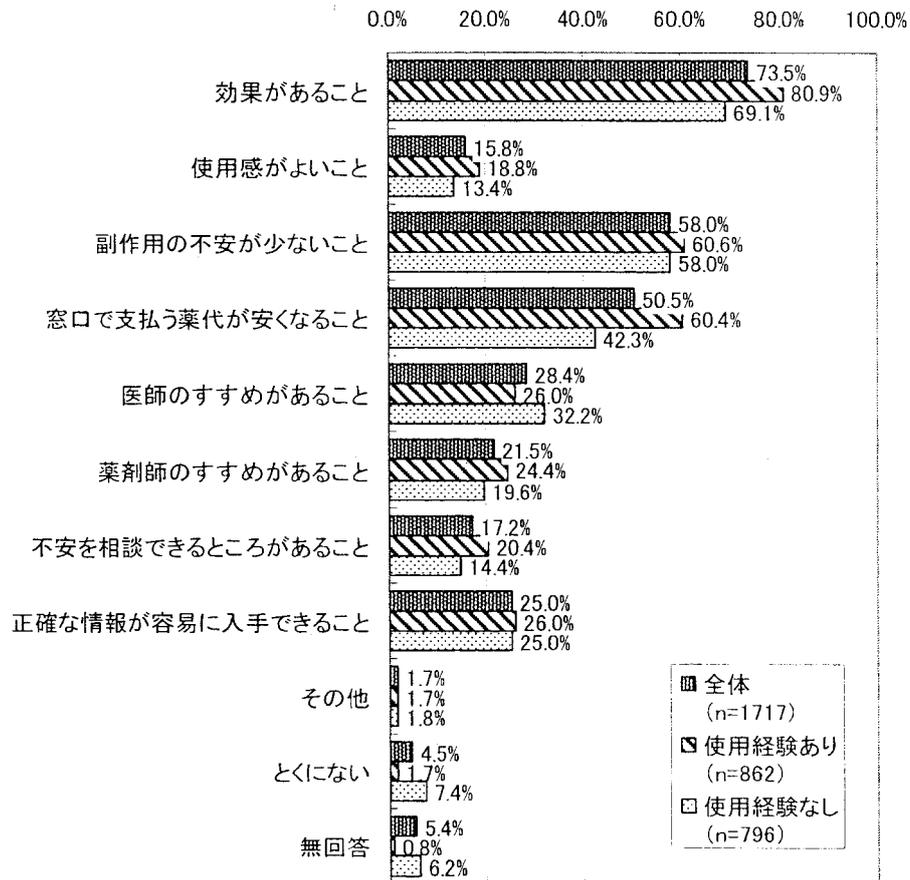
図表 104 後発医薬品の認知状況（男女別）



図表 125 後発医薬品使用に対する考え方（後発医薬品の使用経験別）



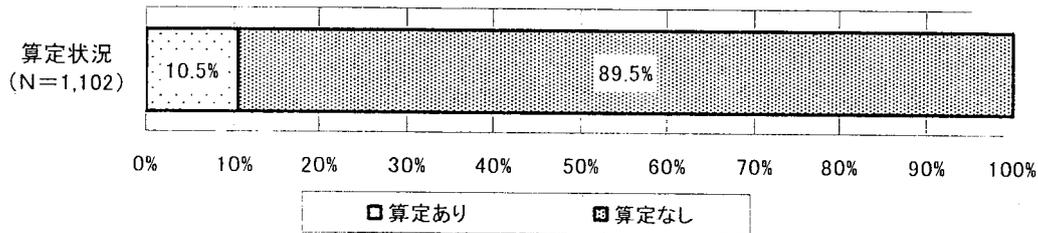
図表 130 後発医薬品を使用するにあたって必要なこと
 (複数回答、後発医薬品の使用経験の有無別)



4 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査1
 (後期高齢者診療料の算定状況に係る調査)

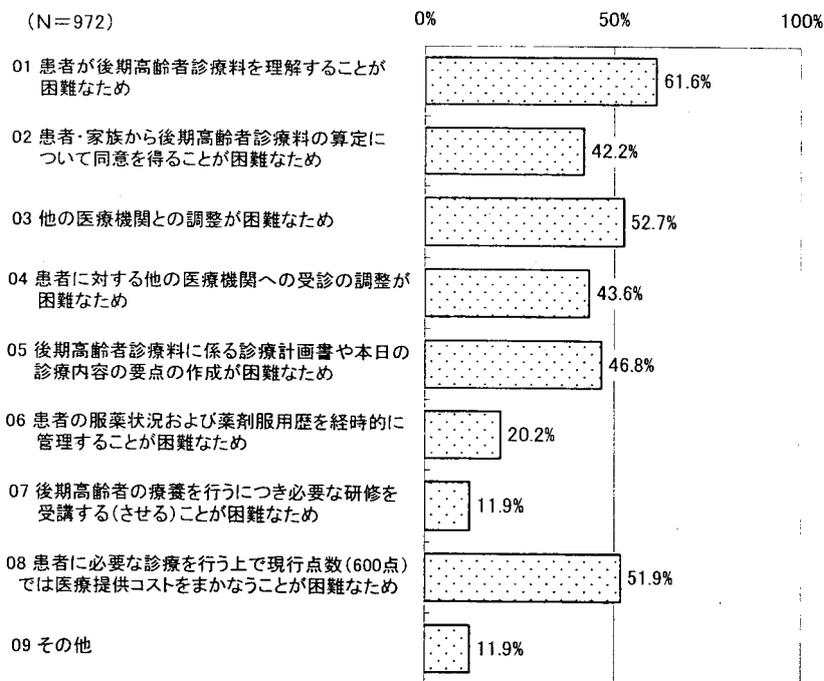
○ 後期高齢者診療料の算定状況

図表 1-6 後期高齢者診療料の算定状況



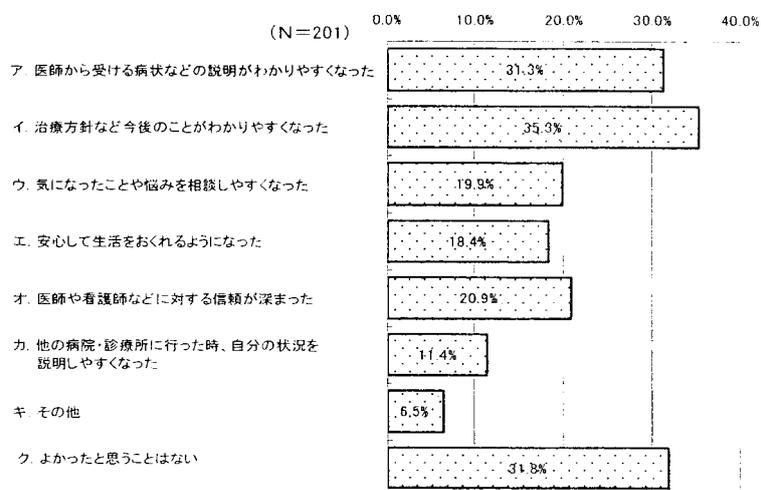
○ 後期高齢者診療料を1人も算定していない理由

図表 1-30 後期高齢者診療料を1人も算定していない理由(医療機関)



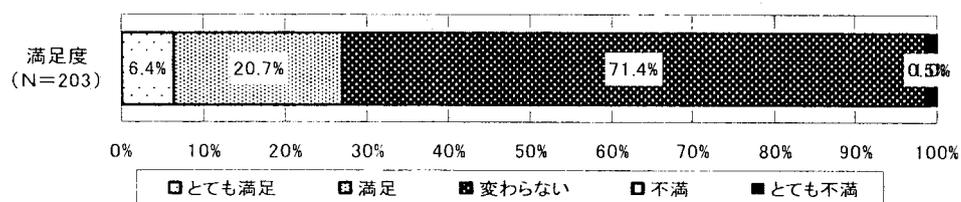
○ 後期高齢者診療料の算定後のよかった点

図表 2-27 後期高齢者診療料の算定後のよかった点(患者)



○ 後期高齢者診療料の算定前後の診療等に対する満足度の変化

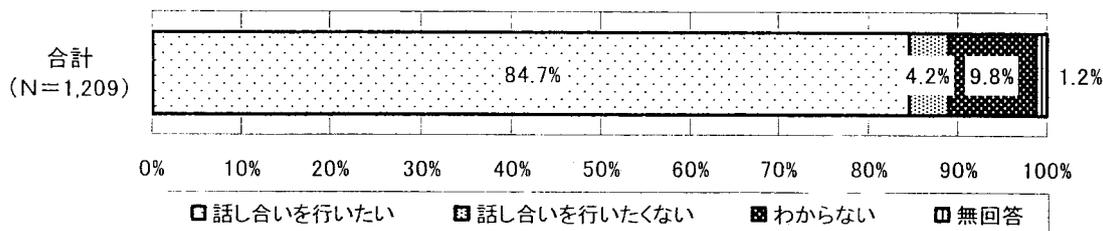
図表 2-33 後期高齢者診療料の算定前後の診療等に対する満足度の変化
(患者)



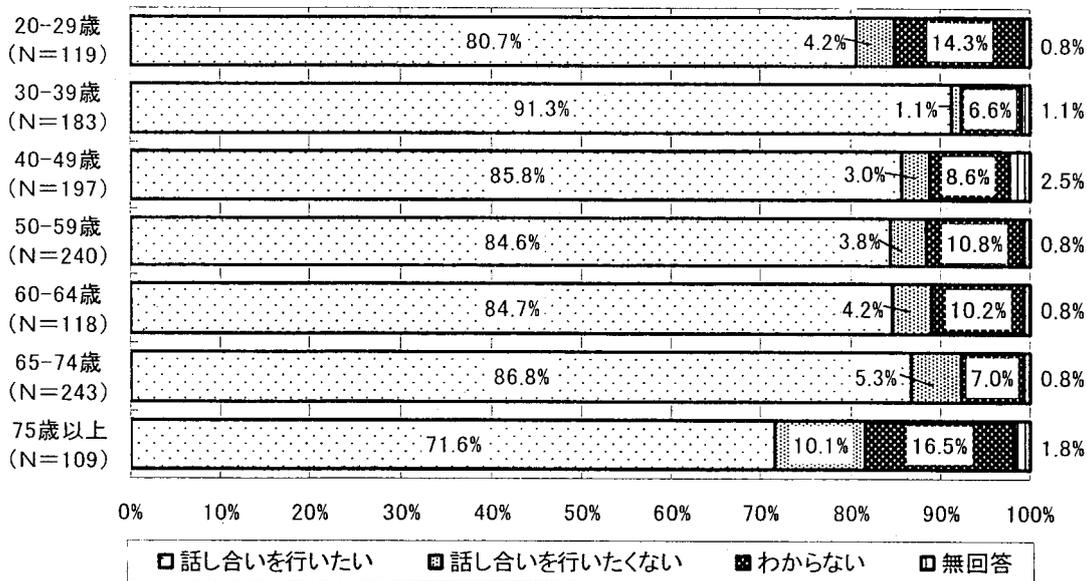
5 後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査2
 (後期高齢者終末期相談支援料に係る調査)

○ 終末期の治療方針等についての話し合いに関する意識(意識調査)

図表 3-9 終末期の治療方針等の話し合いの実施意向

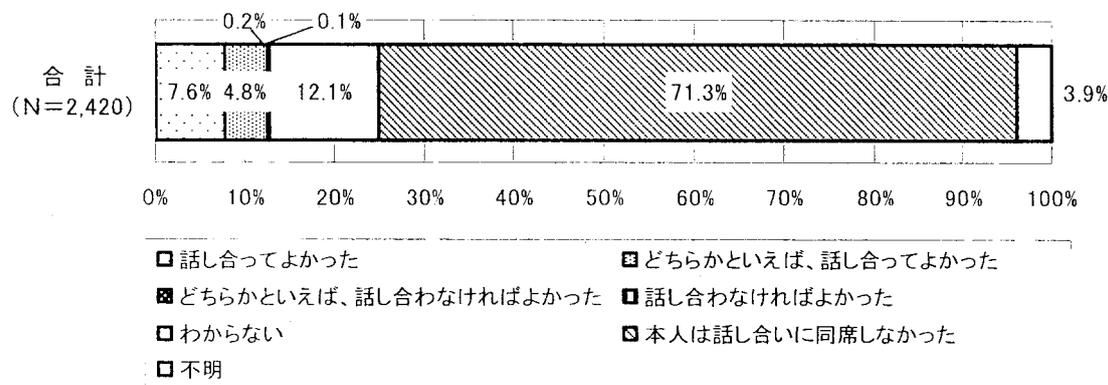


図表 3-10 年齢階層別にみた終末期の治療方針等の話し合いの実施意向

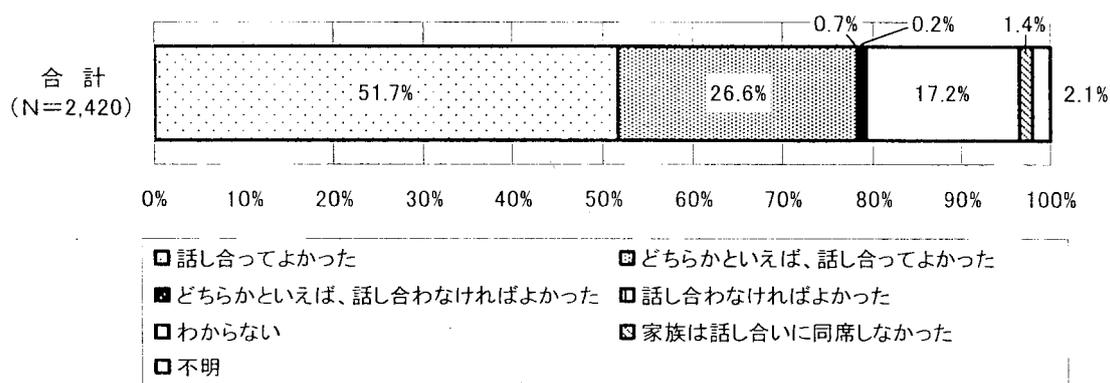


○ 話し合い後の患者・家族の状況(事例調査、回答者は医療機関のスタッフ)

図表 2-10 話し合い後の患者本人の様子



図表 2-11 話し合い後の家族の様子

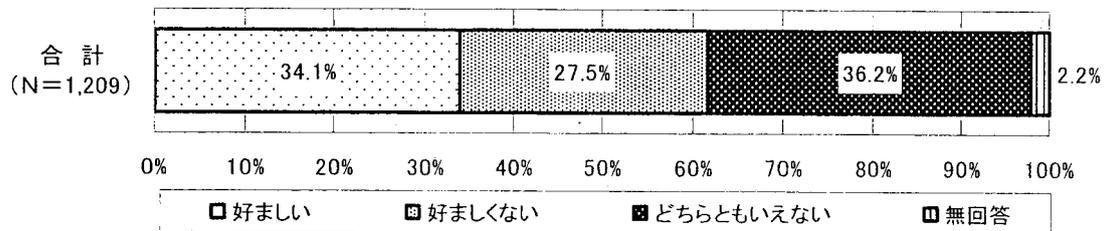


図表 2-12 話し合いが患者・家族へもたらした影響<複数回答>

	事例数	割合
不安が軽減されたようだった	1,121 件	46.3%
患者にとってよりよい(自分らしい)決定に生かされたようだった	748 件	30.9%
医療提供者への信頼が深まったようだった	594 件	24.5%
患者と家族の間に思いが共有されたようだった	366 件	15.1%
家族の悲しみが深まったようだった	169 件	7.0%
迷いや混乱が生じたようだった	116 件	4.8%
医療提供者への不信感をもったようだった	26 件	1.1%
患者の元気がなくなったようだった	18 件	0.7%
その他	132 件	5.5%
特になし	473 件	19.5%
総 数	2,420 件	100.0%

○ 終末期の治療方針等についての話し合い等に対する費用の支払いに関する意識(意識調査)

図表 3-17 公的医療保険から医療機関に対して相談料が支払われることへの意識



図表 3-18 年齢階層別にみた公的医療保険から医療機関に対して相談料が支払われることへの意識

